



みんなで作る 絵本プロジェクト



プロジェクトチーム

- ▶ N P O 法人地域活性スクランブルフォーラム
- ▶ 高柳順子（三島市のキャラクター作者）
- ▶ 子育て世代の方々
- ▶ 徳育、子育てアドバイザー
- ▶ 三島市、子育て支援課、三島市立図書館
- ▶ その他

NPO法人

地域活性スクランブルフォーラムの活動

教育・観光・健康・環境・総務の分野ごとの部会において、それぞれ年に数回、世の中のニーズに合った半歩先を行くオリジナルな企画を立てて活動しています。



地域を一つに、まちを元気に。

▶ だがしや楽校

子どもの仕事は、よく遊び、よく学び、よくお手伝いをする事。
三嶋大社を中心に地域の子どもと大人がのびのび触れ合う1日を創出します。



教育 部会

観光 部会

健康 部会

環境 部会

▶ 楽寿の森 芸術祭



▶ 伊豆巡礼八十八ヶ所



▶ ミニミニ発電コンテスト



▶ ペタンク

▶ 伊豆鹿ブランド化



▶ スローフードと健康づくり体験

▶ 駿豆線沿線ウォーク&ライド





NPO法人地域活性スクランブルフォーラム これまでの活動実績

- 2005年 伊豆巡礼八十八ヶ所
- 2006年 駿豆線沿線ウォーク&ライド開催
- 2008年 だがしや楽校フォーラム
第1回だがしや楽校開催 現在に至る
- 2009年 スローフードと健康づくり体操
- 2010年 第1回楽寿の森芸術祭 現在に至る
- 2011年 ペタンク大会 現在に至る
- 2014年 第1回せせらぎミニミニ水力発電コンテスト 現在に至る

事業企画

おもいやりのタネまき
絵本プロジェクト

子どもたちを取り巻く環境

- ▶ グローバル化・情報化
- ▶ 核家族化・兄弟姉妹の家族の減少
- ▶ 遊び場の喪失
- ▶ 地域・家庭の教育力の低下
- ▶ 価値観やライフスタイルの多様化

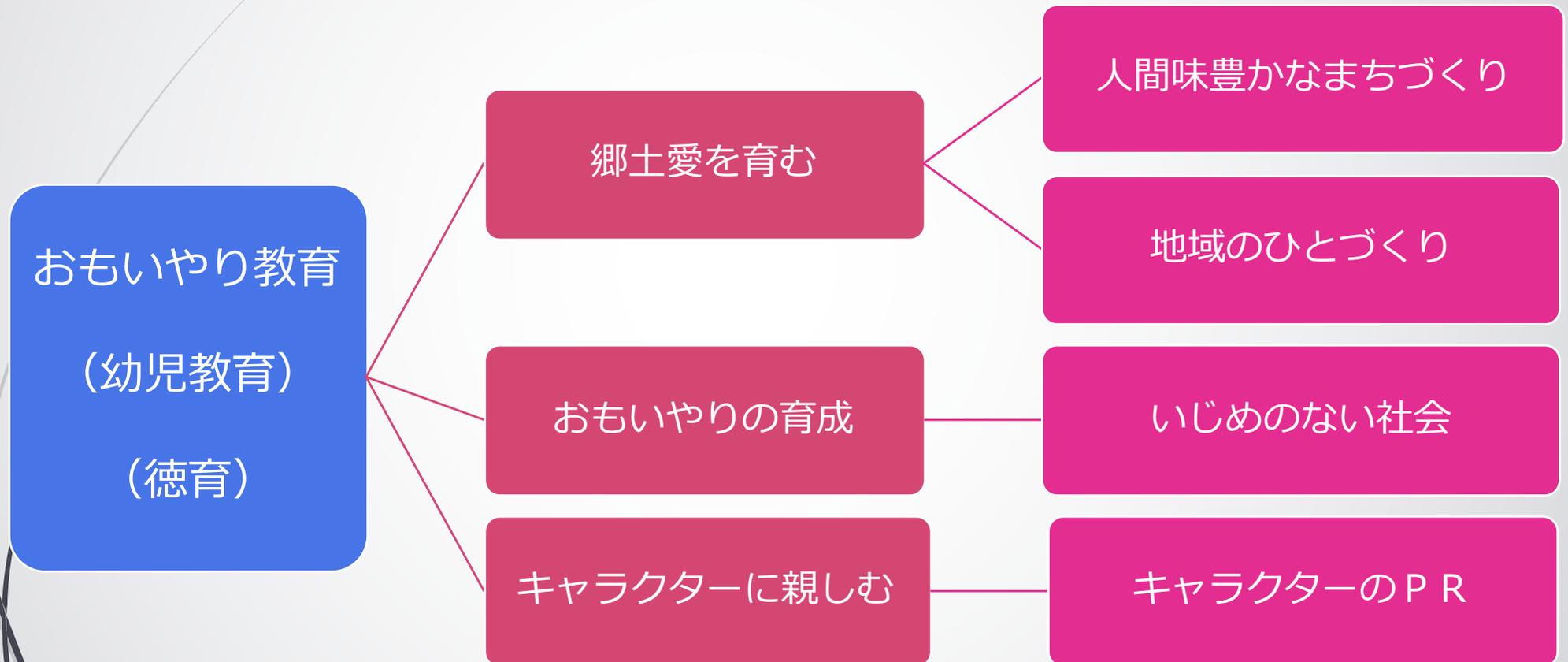


地域社会とのつながりや支えあいの希薄化（価値観の相違）



協調性やおもいやりの欠如
規範意識の低下

おもいやり教育の目指すもの（事業の目的）



事業の内容

- 絵本のテーマ「おもいやりのタネまき」
- 絵本は20ページ程度とする
- 3歳～5歳くらいの幼児を対象とした絵本を作成
- **三島市のキャラクターを使った初めての絵本**
主人公はみしまるくん・みしまるこちゃん
- 子育て世代の保護者アンケートを実施する
- **絵本の内容はアンケートやワークショップを基に作成する**
- 親が子どもに伝えたいこと・教えたいことを盛り込む
- **親もおもいやり教育への再確認ができるようにする**
- 絵本は、三島市内の保育園・幼稚園・託児所・子育て支援センター・図書館・近隣市町に無料頒布する（おもいやり教育の拡散）
- 三島市セカンドブック事業との連携を図る（2歳児検診の視察）
- 読み聞かせなど、絵本に触れる機会を作る

スケジュール

5月	企画書作成、予算書作成
6月	アンケート作成・実施（子育て世代200人以上を予定） 2歳児検診（セカンドブック事業）視察
7月～ 9月	子育て世代の方々を交えたワークショップの開催
10月～11月	ワークショップ、アンケートを基に絵本作成
12月	製本
1月～	絵本の無料頒布 (図書館、保育園、幼稚園、託児所、子育て支援センター、 近隣市町等) 市長へ報告 読み聞かせの実施 おもいやり教育の勉強会実施 三島市2歳児健康相談会での読み聞かせ

アンケートの実施

期 間： 6月1日～6月20日

実施場所： 三島市子育て支援センター、子育て支援課、恵明学園保育園、
清水町子育て支援センター、沼津市子育て支援センター、イベント

総 数： 230件（男の子 女の子）

調査内容： お子様の男女別
どんな絵本を読んでいるか
よくかんでいる絵本は何か
好きな理由は何か
読み聞かせをしているか
絵本を選ぶポイント
絵本の好きなシーン
絵本を通じて伝えたいこと

アンケートの結果

絵本を通じて伝えたいこと

絵本・本を読む楽しさ

思いやり

やさしい心

想像力

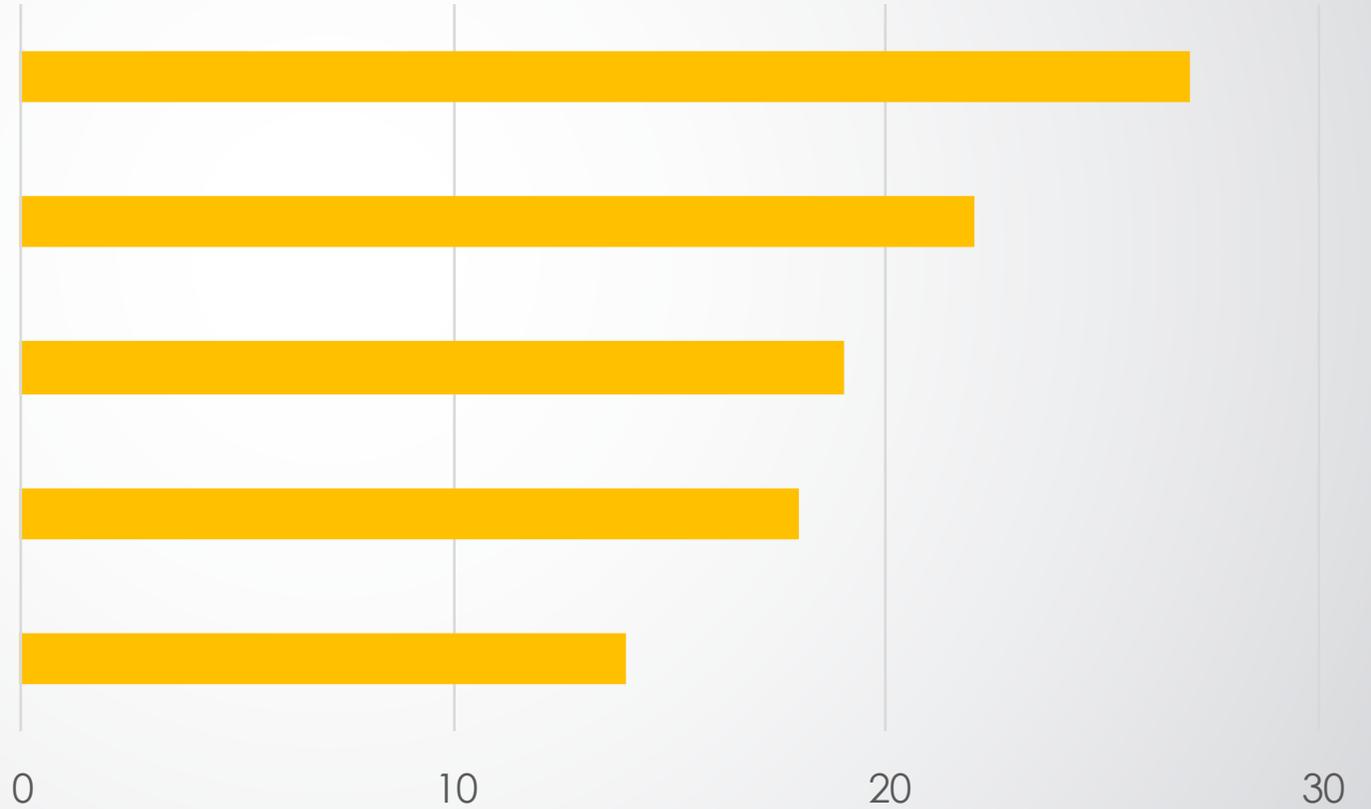
友達の大切さ

0

10

20

30



事業収支予算

収入の部

科 目	積算金額	内容 (算出根拠)
協賛金	80万円	協賛企業等募集
スクラブル事業費	10万円	自主財源
補助金	10万円	補助金申請
収入合計	100万	

支出の部

科 目	積算金額	うち補助金	内容 (積算根拠)
製本費	65万円	10万円	300冊作成
デザイン料	15万円		絵本の監修
絵の制作費	15万円		絵の作成
事務費	5万円		コピー代等
支出合計	100万円		



期待される効果

- ▶ 三島市のキャラクターに親しみを持ち、幼児期より郷土愛やおもいやりの心を育むことができる
- ▶ 人間味豊かなまちづくりに期待ができる
- ▶ 人口増加への効果が期待できる
(子育てしやすいまちを目指す)
- ▶ おもいやり教育を拡散することができる
- ▶ いじめのない社会の実現に寄与する
- ▶ 子どもとの接し方や教育の仕方が分からない親の手助けとなる



翌年度以降の事業展開

- ▶ 絵本の頒布
- ▶ 2歳児健康相談会での読み聞かせ
- ▶ 読み聞かせの実施
- ▶ 幼児教育の勉強会を開催



ご清聴ありがとうございました。